

大高同窓会報

発行

千葉県立大多喜高等学校同窓会

千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481

〒298-0216 TEL 0470-82-2621

学 校HP <https://cms2.chiba-c.ed.jp/otaki-h/>

同窓会HP <https://dousoukai.site/otaki-h/>

E-mail otaki-h@chiba-c.ed.jp

印刷 (株) サラト

姫路市北条宮の町172番地

TEL 079-284-1380



徒然に思うこと

同窓会長 猿田 寿男 (昭42高)

大多喜高校同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また日頃より本会の運営にご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

ようやくさわやかな秋を迎えるところですが、本年は、地球温暖化やエルニーニョ現象を伴い、7月から大雨による大規模災害や酷暑に見舞われるなど、かつてない異常気象が続きました。

これは日本だけの例外ではなく世界的な現象であり、世界各地では豪雨や熱波これに伴う森林火災・台風・地震などが発生しております。

まさにこの数十年来の我々人類の無謀ともいえる開発や環境破壊に対する地球からの反撃と思わざるを得ません。

さて、ウクライナとロシアの戦争は泥沼化し、いつ終わるのか、どういふ決着を見るのか混沌としています。

しかしながらよく考えると、一人の独裁者が、自己の思い上がった歴史観でしかも独立国家であるウクライナを俺のものだと主張し横奪しようとする魂胆は現今の世界ルールにあっては考えられないことであり、ひいては独裁国家の国民自身の民度が問われかねないと思います。

一刻でも早くウクライナに平和が訪れ、ウクライナ国民が日常の暮らしを取り戻せるよう祈りたいと思います。

ところで、今日、人工知能 (AI) のデジタルテクノロジーの発達により対話型AI「チャットGPT」が注目を集めております。また、これが学校教育にも多大な影響を及ぼすと言われております。

私のような高齢者の部類に属する人間には、非常に分かりにくい分野でありますけれど、話を聞くと大変便利なものであるらしい。

しかし便利だからこそ注意が必要で、対話型AIを悪用して偽 (偽

り)の情報が出回ったりしたら社会が混乱する恐れが出てきたり、教育の現場においては、便利だからこそ子供の考える力・想像力の発達・育成に支障を及ぼさないかの心配も出てくるといいます。

私もチャットGPTの力を借り、結構厄介な挨拶文などもちょこちょこ原稿書きを手伝ってくれたら良いなと思うことはあるけれど人間の微妙な思考・感情にまで立ち入ることはできないと思うので、チャットGPTを使うことはあきらめています。

ただ、教育現場でチャットGPTを生徒は考えるときの補助役で使ったり、生徒が気が付かないことをヒントのように出してくれらたら学習の効率性からも良いのではないかなと思います。

一方、余りチャットGPTと仲良くしすぎるとチャットGPTの手法・範囲に惑わされ我々自身が絡めとられてしまう危険性であるとか、もっと幅広く多様な創造力や思考力、倫理観、感情の世界を広げるべきときにかえって邪魔をされるのではないかと心配します。

今後は新しい倫理観の視点からのテクノロジーと人間性の共生が求められるのではないかと思います。

さて、コロナは、最近騒がれなくなりましたが、9波が近づいていると言われているようです。油断することなく引き続き臨機応変にマスク・手洗いなど感染防止に注意しましょう。

最後に、在校生の皆さんは、中間芳秀校長先生を始め諸先生方の教育に対する情熱のもと「大高生」として勉学とまじめな生活態度で引き続き頑張ってくださいと思います。

また、同窓会会員の皆様には素晴らしい「大高」は変わらないの進化を続けておりますので皆で母校の応援をしましょう。

母校の一層の発展並びに同窓会会員の皆様のご健勝を祈念し挨拶いたします。



校長挨拶

校長 中間 芳秀 (昭56高)

日頃より同窓会会員の皆様方には、母校の発展と生徒の育成に多大なる御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

早いもので着任して3年目を迎えます。この間、同窓生の皆様方には、大多喜町をはじめ近隣の市町に伺う機会に、お声掛けや御助言をいただきました。皆様方の御厚情に心より感謝申し上げますとともに、今後とも母校発展のため微力ではありますが、尽力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症が今年5月に感染症法上の5類感染症に移行し、これまで3年余に及んだ感染症への対応も1つの節目を迎えました。この間、様々な制約の中で工夫を凝らしながら、感染拡大防止と学校教育活動の継続の両立に取り組んできました。しかしながら、生徒達は、これまでの約3年間の様々な抑制を強いられてきた生活により、運動不足やストレスから身体的及び精神的に健康を脅かす「健康二次被害」が懸念されています。

令和4年度から本校にも、ようやくスクールカウンセラーが配置され、生徒、保護者、職員もその専門性を生かした助言により、今まで以上に幅広い対応が可能となりました。新型コロナ感染症の影響ばかりではなく、様々な課題、悩みを持っている生徒

への対応が学校として求められています。今後とも丁寧な対応を心掛け、大多喜高校に入学してよかったと思える学校づくりに邁進していきます。

今年8月鹿児島県で開催された全国総合文化祭に、16年連続で美術部3名、2年連続で書道部1名が出場をしました。県内の精鋭達の中から選抜された本校生徒の作品を、お時間が取れましたら、是非とも本校内の廊下にも、文化ホールのように様々な作品が展示していますので、御覧いただきたいと思っております。また、吹奏楽部が昨年に引き続き県吹奏楽コンクールで金賞を受賞し、9月に千葉県君津市で開催される東関東大会出場を決めました。

さて、今年度の本校の特色ある取り組みを2点紹介します。

1つ目は、昨年度に引き続き、高大連携協定校であります、千葉工業大学から理事長 瀬戸熊 修様 (昭37年度卒) の計らいで、6月下旬に1年生全員に無償でiPadを贈呈いただきました。今後は、ICT (情報通信技術) を活用した授業実践、探究的 (自ら課題を発見し、自ら考察し解決し、自らの考えを表現する) な取組、地域社会の発展、人材育成等に関することなど、多岐にわたる取組を中心に活用してまいります。文部科学省のGIGAスクール構想により、全国の小中学校では急加速度的にタブレット端末の整備が進む中、特に高等学校においては都道府県独自の整備と

なっているところ、千葉県教育委員会では公立高等学校におけるタブレット端末は原則各自で購入することとしています。本校生徒にとっては、経済的負担の軽減と速やかに活用できることから、本当にありがたいことだと感謝しています。

2つ目は、本年度2年目を迎えます「教育関係職希望者講座」についてです。これは、地元の児童・生徒を地元出身者の手で育て、地域に根ざした授業実践を通じ、郷土愛を育み、いすみ郡市の地域振興に寄与することを目的としています。年間12回の講座を通じて、教育職の魅力、地域の特色などを理解し、教育職の素晴らしさ、やりがいを少しでも生徒達に感じてほしいという思いから、長期休業前後に、希望する校種に実習に行ったり、大学の先生からの出張授業を対面で受講したり、町の教育長さんからの講義なども導入し、地域一帯となって実施をしています。今年度からは、「教育講座Ⅰ」を学校外の学修として単位認定をすることや次年度は「教育講座Ⅱ」を設定し、さらに発展的な内容を盛り込んでいく予定です。次年度からは県の教育振興計画により、本校へ「教員基礎コース」が設置されます。講座の開設を目指して、現在検討しているところです。(カリキュラムは別途掲載)

また、今年度新規の講座として、特別支援学校における実習をすべての受講者が行うこととしました。

昨年度は、1年から3年生まで36名が受講し、3年生の受講者13名は、卒業後、全員が教育関係の学校へ進学し、今後、指導者として夷隅の地に帰って活躍してくれることを期待しています。

今年度は37名が受講しています。実習や大学の講義等を通じて一人でも多くの生徒が、次代を担う子供達の育成にかかわる仕事に携わってくれることを願っています。

120年を超える歴史と伝統に輝く「大高生」としての、自覚と誇りを持ち、伝統を受け継ぎ、新たな創造を目指し、優しさと強さを兼ね備えた人材を育ててまいります。

おわりに、同窓生の皆様には、今後とも本校生徒のため変わらぬ御支援、御協力を賜りますよう、併せて皆様方の益々の御発展を祈念申し上げ、挨拶といたします。

令和6年度から教員基礎コースが開設されます。

- ・保育所や小学校・中学校・特別支援学校などで実習や体験的な活動をおとして学びます。母校での実習ができます。
- ・高大連携校(秀明大学・千葉工業大学・植草学園大学等)による教育に関する専門的な授業を受けることができます。
- ・コースは講座形式で実施します。(受講者を1クラスにまとめたりはしません)放課後や考査後の半日日課などを活用します。
- ・本校卒業生で現場で活躍されている先生方も講師でお招きします。

教員基礎Ⅰ(1単位)

- ①オリエンテーション 【説明】
- ②教育の魅力についてⅠ 【講話】
- ③学校の日常について 【講話】
- ④実習体験Ⅰ(幼保小中特) 【実習】
- ⑤実習体験の振り返り 【演習】
- ⑥高大連携特別授業 【講話・演習】
- ⑦実習生から学ぶ 【講話・演習】
- ⑧実習体験Ⅰ(特別支援) 【実習】
- ⑨先生っていいもんだ 【講話】
- ⑩実習体験Ⅱ(幼保小中特) 【実習】
- ⑪実習体験の振り返り 【演習】
- ⑫1年間の振り返り 【演習】
- ⑬教育の魅力についてⅡ 【講話】

教員基礎Ⅱ(1単位) 予定

- ①オリエンテーション 【説明】
- ②教育の魅力についてⅢ 【講話】
- ③学校の日常について 【講話】
- ④実習体験Ⅲ(幼保小中特) 【実習】
- ⑤実習体験の振り返り 【演習】
- ⑥授業づくり① 【演習】
- ⑦授業づくり② 【演習】
- ⑧実習体験Ⅱ(特別支援) 【実習】
- ⑨先生っていいもんだ 【講話】
- ⑩実習体験Ⅳ(幼保小中特) 【実習】
- ⑪実習体験の振り返り 【演習】
- ⑫授業づくり③ 【演習】
- ⑬1年間の振り返り 【演習】
- ⑭教育の魅力についてⅣ 【講話】



地元の教育委員会、保育所や学校の先生方にも協力いただいています。



教育に関する専門的な内容を学ぶことができます。



自分の母校の小・中学校、保育所で体験実習ができます。また、特別支援学校でも実施します。令和5年度は7月、10月、12月に計4日間実施予定です。



本校の卒業生で教育現場で活躍している先輩がたくさんいます。

新副会長挨拶



同窓会副会長 田中 憲一 (昭61高)

このたび、千葉県立大多喜高校の同窓会副会長に就任しましたことを心より感謝いたします。同窓生の皆様に支えられ、共に学んだ思い出深い母校を支援する責任を担うことは、大変光栄であります。

同窓会は、学生時代に培った絆を大切に、地域との連携を強化し、地域社会に貢献するための重要な架け橋です。私たちの母校である大多喜高校の成長と発展をサポートし、多くの先輩・後輩との交流の場を創出することを目指してまいります。

皆様の多様な経験や知識、熱意を活かし、共に協力して素晴らしいイベントや活動を企画・実施してまいります。また、同窓生の皆様との交流を深める機会を大切に、心温まる思い出となるような時間を共有していきたいと考えております。

皆様とともに歩むこの貴重な機会を大切に、共に努力し、協力し合いながら、大多喜高校の伝統を守り、未来に向けて新たな一歩を踏み出していくことを楽しみにしております。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

新副会長挨拶



同窓会副会長 太田 雅彦 (昭59高)

大多喜高校同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。昨年10月の同窓会総会において同窓会副会長を拝命しました、昭和59年高校卒の太田雅彦と申します。多くの諸先輩方がいる中、副会長の大役を任せいただくことになり、責任感をひしひしと感じています。

微力ではありますが、母校の発展と会員の皆様のために頑張っておりますので、会員の皆様からのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

大多喜高校のある夷隅郡市は、現在急激な少子化により定員の生徒数の確保が厳しい状況がここ数年続いております。私が現役高校生のころ夷隅郡市内には6つの高校がいましたが、現在は大多喜高校と大原高校の2校になってしまいました。教職員の皆様のご尽力で大多喜高校の生徒たちは素晴らしい、流石は伝統校だとお話を聞くこともございますが、伝統校というだけでは生き残れない時代が来ています。これからの高校には特徴のある校風や学科授業などが求められてくると考えています。

120周年を超える大多喜高校には、それだけ多くの卒業生がいて、様々な職業や役職に就かれている方や専門的な知識に優れた方も多くいます。この強みを活かすためには同窓会の活性化は大事なことであると思います。約20年前、私が初めて大多喜高校の同窓会総会に参加したころは120名を超える同窓生の皆様に参加されていました。もう一つ参加していた千葉大高会には150名近い方たちが参加していたと思います。しかし現在ではどちらの会も年を追うごとに参加人数が減っていき、現在では50名程度の参加者を集めるのがやっとになってしまいました。

同窓会会員の皆様の小さな協力の積み重ねが、大多喜高校や現役の生徒達の将来を支えていくのだと思います。副会長として、同窓会の活性化並びに同窓会会員の皆様の小さな協力の橋渡しが出来よう頑張っていきたいと思っております。

結びに、中間芳秀校長先生をはじめ、教職員の皆様の教育に対する情熱と努力に敬意と感謝を申し上げますとともに、母校の一層の発展と同窓会会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして挨拶といたします。

大多喜高校部活動大躍進

今年度も美術部書道部吹奏楽部をはじめ、文化部大活躍の年です。あとのページの通り、総合文化祭には美術は3人も出場しました。また、書道は今年も1人参加しました。吹奏楽は東関東大会へ出場を決めることができました。



文化祭での様子です。いつもは総合文化祭での写真ですが、このように展示したり、書道パフォーマンスをしたりしています。文化祭は一般公開もするようになりましたので、ぜひ足を運んでみてください。



運動部は代々伝わる伝統を守ってしっかり活動しています。

中でも弓道部は8月下旬に行われた関東高校弓道個人選手権選抜大会千葉県予選会で千葉県代表として2年藤井友里さんが関東大会に進むことができました。

部活動全体での集合写真です。

部・同好会

体育系	男	女	計	文化系	男	女	計
柔道	4	4	8	生物	9	5	14
剣道	2	0	2	美術	1	11	12
陸上競技	11	9	20	書道	2	7	9
弓道	16	14	30	マンドリンギター	2	15	17
野球	16	3	19	演劇	2	10	12
ソフトテニス	7	6	13	英語	7	5	12
バレーボール	20	15	35	吹奏楽	7	13	20
バスケットボール	16	17	33	茶道	0	8	8
サッカー	23	4	27				
卓球	15	4	19				
				全合計	160	150	310

部活動状況



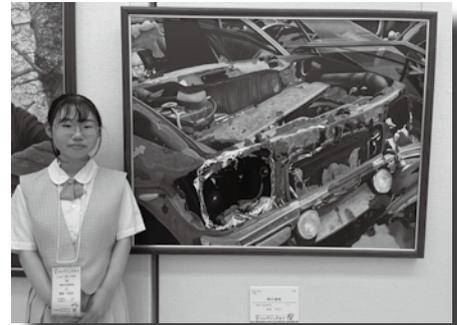
令和5年 第47回全国高等学校総合文化祭



書道部門



美術・工芸部門



高地 千花子 (3C)



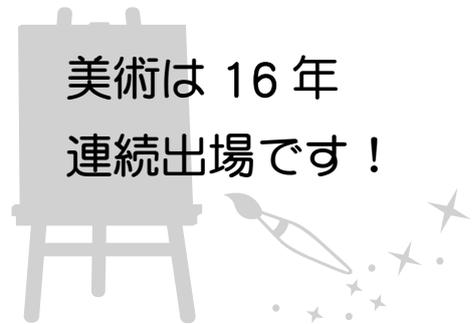
末吉 美月 (3B)



東條 楓 (3B)



志鎌 遙 (3C)



美術は16年
連続出場です!



第65回千葉県吹奏楽大会 **金賞** 第29回東関東吹奏楽コンクール9月9日出場 県代表決定



支部・OB会だより

▶▶ 大多喜支部

同窓会大多喜支部では本年4月28日に支部役員会を開催し、支部総会に向けての準備を行い、5月26日に総会を平林後援会長、中学校長をお招きして大多喜町中央公民館において開催させて頂きました。

総会では事業報告、決算報告、事業計画、予算が承認されましたが、コロナ禍ということで思ったように事業も遂行することが出来ませんでした。いすみ鉄道の草刈作業の支援や先輩諸氏が築き上げてきた親睦ゴルフ大会は13名の方々に参加して頂き会員の親睦を深めることが出来ました。

議事終了後同窓会事務局の森田教頭より学校の現状報告があり、令和6年度より教員養成基礎コースの開設予定等新入生の募集に力を入れると共に在校生の学力アップや部活動の活躍状況等を詳しく報告頂きました。

なお、本年の支部事業でございます親睦ゴルフ大会も今回で20回を迎え、記念大会として10月25日(水)に大多喜カントリークラブで開催予定ですので、ご参加頂ける方は支部役員までお申し込みください。

今後とも皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

大多喜支部長 花崎 喜好

▶▶ 女子高支部

女子高支部では5月第4日曜日に総会を行ってきましたが、コロナ感染状況のため書面開催としてきました。本年度は、これまでの状況により支部としての総会は行わないことを決めました。役員が集まりもできずにいましたが、少しずつ増やしていけたらと思っています。

▶▶ 大原支部

大原支部では新型コロナ禍以後、支部総会を開催していません。三役会を早急に開き今年中に支部役員会を開く予定です。

総会が開けないということで苦慮していたところですが、役員の皆様の意見を聞きながら、今、支部役員若返りを考える必要があると思っています。

40代、50代の皆さんに役員になって貰うのが理想だと思いますがなかなか、年代が下の人達の顔が浮かびません。

若い世代の人に期待して、来年は良い報告が出来るようにしたいと思います。

大原支部 青柳 英俊

▶▶ 経友会報告

経友会は、当初、郷里を離れた同窓生が、母校への支援と会員相互の親睦を目的に発足しました。現在は、主として年2回(初夏・秋開催)のゴルフコンペを実施しております。コンペは、母校近くのゴルフ場を会場に行われております。同窓生であればどなたでも参加を歓迎いたします。

第79回ゴルフコンペ 令和5年6月27日開催、会場南茂原C、18名参加。快晴、無風の中行われました。老若相集った18名の参加者は、プレーを楽しみました。

経友会役員

会長 引田紘一 (S33年度卒)

幹事 秋田幸一 (S46年度卒)

☎ 090-3217-9493

幹事 太田雅彦 (S58年度卒)

☎ 090-8872-1912

▶▶ サッカー部OB会活動報告

サッカー部OB会では、令和4年8月27日に第21回定期総会を開催し、新型コロナウイルスの感染拡大状況推移を見つ、大多喜町近隣少年サッカーの開催を準備して行く事としました。

3年ぶりの大会開催に向けて9月30日に大会運営の打合せ会を行い、運営方法、日程、感染対策等を協議し、10月に案内文書発送、11月16日に最終の運営打合せを行いました。参加サッカーチーム関係者、現役サッカー部のご理解とご協力、大多喜町教育委員会の後援もいただき、12月17日に第22回大多喜町近隣少年サッカー大会が開催できました。(令和5年1月10日の千葉日報に、大会開催の記事が掲載されました。)

新型コロナの感染防止のため観客は家庭1名と制限しましたが、この時期までのスポーツ大会は無観客だったことから、少人数でも観戦ができたことについて感謝の言葉が聞かれたところです。

第22回定期総会は、8月26日に開催することで、約400名のOB会員に会計報告や現サッカー部の状況と合わせて案内しています。第23回の少年サッカー大会は12月16日(土)に予定しております。(原稿提出時。)

OB会の活動として大きな行事となる少年サッカー大会の開催について、関係各位のご理解、ご協力を引き続きお願いいたします。

サッカー部OB会事務局 小高 得滋



B29墜落の情報を！

作家・評論家 江澤 誠



同窓会の皆さま、いつもお世話になっております。昭和43年、第20回卒業の江澤誠です。

昨年、大多喜の生家（大多喜町小谷松）に帰省し、送っていただいているいすみ鉄道フリー切符を使用し、東京に戻りましたら、ちょうど同窓会報と新しいフリー切符が送られてきました。

同窓会報には投稿歓迎とも書かれており、これを機会に、日頃関心を持って調査・執筆しているテーマに関して、情報を求めて投稿しようと考え、早速同窓会宛メールを送り、掲載のご快諾をいただいた次第です。

郷里の大多喜や夷隅地方に関して、今関心を持っているテーマとしては、「B29墜落事件」「大多喜中学校事件」「夷隅事件（以文会と自由民権運動）」「正岡子規の房総旅行」などがあります。

これらのなかで、「B29墜落事件」について少し書いて見たいと思います。

アジア・太平洋戦争末期に、米軍は日本各地をB29などの戦略爆撃機で空襲し、1945年4月15日には川崎への大空襲がありました。

B29、200機による空襲でしたが、11機が墜落して帰還できず、そのうちの1機が市原郡白鳥村（現市原市）と夷隅郡西畑村（現大多喜町）の境あたりに墜落し、搭乗員12人のうち2人が死亡、10人が捕虜となりました。

捕虜は、西畑国民学校の大きな桜の木につながれました

が、当時私の父が同校に勤めていたことで、この件を調べています。

その捕虜の動静について、例えば、パラシュート降下米兵が西畑駅から木原線で大多喜駅へ連行された、大多喜駅にいたのを見た、大多喜中学校で見かけた、木原線で大原に連れていかれた、山の中に降り立った米兵の捜索に身内や知り合いの人が狩り出された、茂原の憲兵隊に連れていかれた、などの情報を求めています。

一方、墜落したB29の残骸は、小湊鐵道朝生原駅（今日の養老溪谷駅）から、東京へ送られましたが、その時の様子もわかればありがたいです。

下記メールか電話で、どうかよろしく願い申し上げます。この件では、大多喜町や市原市中学出身の同窓生に個別に照会したことがあります。

また、今回は、情報を求めての投稿になりましたが、逆に、アジア・太平洋戦争期の、海外における鉄道建設、特にスマトラ横断鉄道や泰緬鉄道に関しては、情報提供できると思います。関心のある方はご連絡ください。

メールアドレス ezawa@mvf.biglobe.ne.jp

電話 080-6555-8160

URL <http://www5d.biglobe.ne.jp/~ezawa/>

URL <https://sumaterarailway.wordpress.com/>

それでは、皆さまご自愛專一に、ご多幸をお祈りしております。

令和4年度 同窓会決算書

【一般会計】

収入総額 4,077,125円
支出総額 1,771,017円
差引残額 2,306,108円（次年度へ繰越）

収入の部

単位：円

科目	予算額	決算額	増減額	説明
繰越金	2,201,507	2,201,507	0	令和3年度繰越金
入会金	745,000	740,000	△5,000	5,000円×148名
賛助金	900,000	1,085,604	185,604	同窓会報発行賛助金
雑収入	15	50,014	49,999	寄付金、預金利息
計	3,846,522	4,077,125	230,603	

支出の部

単位：円

科目	予算額	決算額	残額	説明
会議費	300,000	57,822	242,178	総会補助、役員会費
運営費	300,000	108,027	191,973	事務費、通信費、慶弔費
活動費	600,000	299,166	300,834	支部活動費
広報費	2,000,000	1,306,002	693,998	同窓会報発行代
予備費	646,522	0	646,522	
計	3,846,522	1,771,017	2,075,505	

監査報告書

諸帳簿並びに証拠書類を精査したところ、適正であることを認めます。

令和5年9月6日

監事 地引敬次 ㊟

監事 菰田稔 ㊟

【特別会計】

収入総額 3,727,773円
支出総額 0円
差引残額 3,727,773円（次年度へ繰越）

収入の部

単位：円

科目	予算額	決算額	増減額	説明
繰越金	3,727,741	3,727,741	0	令和3年度繰越金
雑収入	80	32	△48	預金利息
計	3,727,821	3,727,773	△48	

支出の部

単位：円

科目	予算額	決算額	残額	説明
繰出金	0	0	0	
予備費	3,727,821	0	3,727,821	
計	3,727,821	0	3,727,821	

監査報告書

諸帳簿並びに証拠書類を精査したところ、適正であることを認めます。

令和5年9月6日

監事 地引敬次 ㊟

監事 菰田稔 ㊟

令和4年度進路状況報告

進路指導主事 山仲 俊一郎

令和4年度を振り返る

卒業生総数148名の進路決定状況としては、大学が全体の約62%、短大が約4.7%、専門学校が約25%、就職（含公務員）が約6.8%という割合になった。過去2年と比較すると、4年制大の割合（R3年度49%、R2年度59%）が上昇し、就職の割合（R3年度9.9%、R2年度8.1%）が減少したと言える。

大学に関しては、昨年に比べ、一般受験者が減り、学校推薦型（指定校推薦）での受験者が増え（R3年度48.6%→R4年度57.6%）、いわゆる年内入試の傾向が顕著に見られた。今後ともこの割合が加速する可能性が大いにある中、指定校枠も年々減ってきてしまっているのが現状である。

国立大学には、2名の合格者が出た。最後まで粘り強く受験勉強に向き合った結果が合格をもぎ取ることが出来た要因だろう。しかし、過去2年を比較すると、緩やかではあるが、合格者数は減少傾向にある（R2年度5名、R3年度3名※いずれも現役合格者数）。

就職に関しては、例年どおりの求人数があり、地元・県内を中心とする企業に内定を頂けた。また、公務員では複数の自治体で合格者が生まれた。大多喜町役場には本年度も採用して頂けた。

各自が進路実現に向けてよく努力をし、多くが希望進路を実現させた。生徒自身の粘り強さ、保護者のご支援、学年・担任団のきめ細やかな指導の賜であるといえる。

昨年度の進路指導の概要

- ・進路説明会〈3年〉4月14日（木）
- ・進路説明会〈1年〉4月21日（木）
- ・進路説明会〈2年〉4月21日（木）
- ・模試デジ説明会〈1・2年〉5月26日（木）
- ・3年保護者進路説明会 6月4日（土）
- ・進路説明会〈3年〉6月16日（木）
- ・進路説明会〈3年〉7月13日（水）
- ・公務員講座① 7月20日（水）〈全学年希望者〉
- ・夏期実力養成講座〈1・2・3年〉
- ・面接ガイダンス〈3年希望者〉8月2日（火）
- ・インターンシップ・ボランティア・看護体験
延べ人数約52名が参加。
- ・3年共通テスト説明会① 9月8日（木）
- ・1年進路説明会 10月21日（金）
- ・2年進路説明会 11月2日（水）
- ・保護者進路講演会 11月12日（土）（73名参加）
〈講師〉石村 衛氏
〈演題〉「保護者のための進学マネー講座」
- ・3年共通テスト説明会② 12月19日（月）
- ・1・2年職業分野別ガイダンス 12月20日（火）
- ・公務員講座②〈1・2年〉12月23日（金）
- ・進路講演会〈1・2年〉1月10日（火）
〈講師〉VITA氏（等身大株式会社代表取締役）
〈演題〉『夢を叶える等身大講座』
- ・3年共通テスト説明会③ 1月12日（木）

- ・進路希望調査（4月・9月）
- ・各種模試

令和4年度卒業生主な進路実績

〔4年制大学〕（国公立・私大50音順）

筑波技術大・福島大
麻布大・石巻専修大・医療創生大・植草学園大・江戸川大・桜美林大・大谷大・大妻女子大・学習院大・神奈川工科大・神奈川大・鎌倉女子大・亀田医療大・神田外語大・関東学院大・敬愛大・國學院大・国際医療福祉大・国際武道大・国土館大・駒澤大・淑徳大・順天堂大・城西国際大・清和大・大正大・大東文化大・玉川大・千葉科学大・千葉経済大・千葉工大・千葉商大・中央大・帝京大・帝京平成大・桐蔭横浜大・東海大・東京家政大・東京工科大・東京工芸大・東京電機大・東京農業大・東京理科大・東都大・東邦大・東洋学園大・獨協大・二松学舎大・日本医療科学大・日本女子体育大・日本体育大・日本大・法政大・武蔵大・武蔵野大・明海大・立正大・了徳寺大・和洋女子大

〔短期大学〕（50音順）

大妻女子短期大学・千葉敬愛短期大学・千葉経済大短期大学部・千葉明德短期大学・戸板女子短期大学・千葉職業能力開発短期大学校

〔専門学校〕（順不同）

千葉県立鶴舞専門・千葉市青葉看護専門・亀田医療技術専門・東京医療専門・国際医療福祉専門・東京IT会計公務員専門・大原簿記公務員専門・大原医療保育福祉専門・成田航空ビジネス専門・ちば愛犬動物学園・千葉県自動車大学校・千葉ビューティー＆ブライダル専門・千葉リゾート＆スポーツ専門・ハッピー製菓調理専門・日本工学院・東京スポーツレクリエーション専門・東京デザイン専門・東放学園専門 他

〔公務員・民間就職〕（順不同）

大多喜町役場・いすみ市消防・航空自衛隊一般曹候補生・いすみ農業共同組合・沢井製薬株式会社・日宝化学株式会社・株式会社フジワーク・ホテルー宮シーサイドオーツカ・日本製鉄株式会社東日本製鉄所

◇令和4年度卒業生進路状況

	大 学		短 大		専 門 学 校	就 職		浪 人 ・ 他	合 計
	国 立	私 立	国 立	私 立		民 間 ・ 自 営	公 務 員		
男	1	48	0	0	16	5	3	0	73
女	1	42	0	7	21	2	0	2	75
計	2	90	0	7	37	7	3	2	148

事務局だよ!

●令和4年度年度末人事異動

《転出・御退職された先生方》

- 鶴澤 拓雄 (社会) R 4～ 1年間 再終了
- 宮本 明宣 (理科) R 4～ 1年間
東金高等学校 非常勤講師
- 加瀬慎之助 (数学) H30～ 5年間
茂原高等学校
- 伊東 裕也 (理科) R 1～ 4年間
茂原樟陽高等学校
- 栗飯原功雄 (体育) R 1～ 4年間
茂原樟陽高等学校
- 佐藤 裕洋 (英語) H27～ 8年間
九十九里高等学校
- 峯島 栄治 (英語) H27～ 8年間
京葉高等学校
- 丸 美由紀 (主査) R 2～ 3年間
茂原高等学校 (事務長)

《着任された先生方》

- 中根 優希 (国語) 新規採用
- 井坂 圭吾 (社会) 長生高等学校 (臨時的任用講師)
- 佐々木 勝 (数学) 千葉西高等学校
- 中村 広樹 (理科) 長生高等学校
- 田中 毅 (体育) 習志野市立習志野高等学校
- 田中 昌世 (音楽) 一宮商業高等学校 (再・ハーフ)
- 中根 健一 (音楽) 君津高等学校 (臨時的任用講師)
- 高橋 直美 (英語) 大網白里市立白里中学校
- 吉田 佑衣 (英語) 泉高等学校
- 塚本 修 (主査) 長狭高等学校



トピックス

令和5年度

本校の「総合的な探究の時間」の取組みやいすみ鉄道への支援活動、また、様々な大学との高大連携や令和6年度から本格的に開設される教員基礎コースの様子が新聞などに取り上げられました。新しい取組みも始まり、今後も積極的に取組んでいきます。

●異動連絡のお願い

住所等の異動の折には郵便はがきなどで同窓会事務局にご連絡ください。同窓会関係の郵便物が宛先不明で返送されますと会員名簿上での住所は空欄となります。同窓会事務局では少しでも正確な情報を把握しておきたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願ひ致します。

●原稿募集のお願い

同期会・クラス会・OB会等を開催されましたら、会報に掲載しますので、ご連絡をお願い致します。また、同窓会報の『同窓生の声』に寄稿いただける方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局へご連絡ください。

千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481 TEL 0470-82-2621
千葉県立大多喜高等学校同窓会

●個人情報について

個人情報についてですが、同窓会員の情報は(株)サラトにて一括管理されています。これは、会報の発行や名簿作成のためです。それ以外のご利用は一切行っておりませんのでご承知ください。

●役員名簿

会 長	猿田 寿男 (昭42高)	
副 会 長	福山 悦男 (昭29高)	
	近藤 万芳 (昭32高)	
	太田 洋 (昭41高)	
	中村美智子 (昭49女)	
	太田 雅彦 (昭59高)	
	田中 憲一 (昭61高)	
監 事 (会計監査)	地引 敬次 (昭41高)	
	菰田 稔 (昭45高)	
顧 問	齋藤 萬祐 (昭32高)	
	山口 登 (昭37高)	
支 部 長	大 多 喜	花崎 喜好 (昭47高)
	大 原	青柳 英俊 (昭38高)
	勝 浦	竹下 正男 (昭47高)
	茂 原	村杉 仁 (昭31高)
	千 葉 (千葉大高会)	福山 悦男 (昭29高)
	岬	橋本 正志 (昭44高)
	女 子 高	中村美智子 (昭49女)
	御 宿	渡邊 一義 (昭44高)

【支部長は各支部で選出していただいています。】

令和5年度
同窓会総会・懇親会のお知らせ

日時 10月29日(日) 午前11時20分～

場所 勝浦ホテル三日月

会費 7,000円

お問い合わせ、お申し込みは、
下記までお願い致します。

TEL 0470-82-2621
(大多喜高校内・同窓会事務局)